

■欧州：E.ON と RWE、大量の発電所閉鎖計画を発表

E.ON 社は 2013 年 8 月 13 日、2012 年から 2015 年にかけて欧州域内で閉鎖される同社の発電所は計 1,100 万 kW（内、647 万 kW はすでに閉鎖済み）に上ると発表。その翌日の 8 月 14 日には RWE 社がドイツとオランダで 310 万 kW に及ぶ発電所を 3 年以内に閉鎖する計画を発表した。計画の対象となる発電所の大半は火力発電所。両社がこうした見通しを明らかにした背景には、再生可能エネルギーが大量に導入されたことによる卸電力価格の低迷がある。RWE 社によれば、発電事業で利益を確保するためには卸電力価格が 5.5～6 ユーロセント/kWh の水準で推移することが必要とされるが、2013 年 8 月 20 日現在ではドイツ・オーストリア、フランスの卸電力価格は平均約 4 ユーロセント/kWh。こうした現状を踏まえて、両社はともに今回の計画を超える発電所の閉鎖も検討中。E.ON 社のタイセン社長は「欧州の中核となる電力市場で根底からその枠組みが変わらなければ、さらなる発電所の閉鎖は不可避となろう」と語っている。